

和合

No.139

2021. 3. 15

題字：三浦修次



主な掲載記事

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| ・平成ヒストリー …… 2 | ・はやぐおつきぐなれの～! …… 3 |
| ・よつぱつ通信 …… 4 | ・わたしが描く和合の里 …… 5 |
| ・私から見た和合の里 …… 6 | ・季節の郷土料理 …… 6 |
| ・人生100年時代 …… 7 | ・わごう駐在所 …… 7 |
| ・もっしえっけの! まだ、かだつでの～! …… 8 | |
| ・和合の里INFORMATION …… 10 | |

平成 ヒストリー

ー平成の移り変わりをたどるー

余目第四公民館 編

余目第四公民館は平成3年1月に着工し、平成4年3月竣工しました。同月に大和公民館と十六合公民館が閉館し、平成4年4月に余目第四公民館（農村環境改善センター）が開館。同時に第四公民館区部落公民館連絡協議会が発足されました。平成4年6月に青少年健全育成会議、平成6年7月に大和地区地域づくり推進協議会と十六合地区総合振興協議会を解散し、和合地域づくり会議が発足されました。

開館当初は館報「ほなみ」の発行やグリーンアドベンチャークラブ、町民大学「農学部」、しゃぼん玉学級、親と子の体操教室、銀婚の集いなどの事業を開催。平成7年から女性セミナーやゲートボール大会が始まりました。時代が変化するにつれ活動内容は変化しましたが、開館当初から地域の交流の場として多くの皆様からご活用いただいています。

指定管理者制度の導入と振興計画

平成28年1月に第四学区部落会長会にて「和合の里を考える懇談会」が開催され、第四公民館の今後のあり方について検討を行いました。同年3月に和合地域づくり会議幹事会、余目第四公民館運営協議会でも今後のあり方について話し合いが行われ、そこで公民館の指定管理者制度の導入について協議が始まりました。同年6月に余目第四公民館、亀ノ尾の里資料館指定管理受託に向けた懇談会、7月に座談会を開催し、指定管理者制度導入の理解を求めました。座談会では概ね肯定的な意見が多く寄せられ、導入を進める足掛かりとなりました。同年10月に和合の里を創る会設立総会にて設立趣旨、会則、役員体制、当面の活動計画、指定管理者制度受託の承認等について協議が行われ、原案通り決定。平成29年3月に和合の里を創る会理事会にて基本協定、年度協定等について協議をしました。それに伴い第四公民館運営協議会、和合地域づくり会議は和合の里を創る会へ統合しました。

平成29年3月に和合の里を創る会総会で和合の里振興計画策定を決定。10月に住民アンケートを実施し、地域カルテを作成しました。そして地域カルテを基に和合の里振興計画を作成し、平成31年4月に和合の里を創る会総会で承認されました。現在、振興計画実現に向けた事業を展開しています。

公民館はコミュニティセンターへ

庄内町では令和4年4月より7つの学区地区公民館をコミュニティセンターへの移行を計画しています。

公民館とコミュニティセンターの違いは、公民館は法律で社会教育を主として活動することが決められています。一方、コミュニティセンターは公民館がいままで行ってきた公民館活動はもちろん地域課題の福祉、産業などの活動もすることができます。

多岐にわたる地域課題を解決し、地域の拠りどころとなる施設になるためにコミュニティセンターへの移行は大切なことだと考えます。

今号より平成に起きた和合の里の移り変わりについて紹介します。
第1回目は余目第四公民館編です。

余目第四公民館の開館

余目第四公民館は平成3年1月に着工し、平成4年3月竣工しました。同月に大和公民館と十六合公民館が閉館し、平成4年4月に余目第四公民館（農村環境改善センター）が開館。同時に第四公民館区部落公民館連絡協議会が発足されました。平成4年6月に青少年健全育成会議、平成6年7月に大和地区地域づくり推進協議会と十六合地区総合振興協議会を解散し、和合地域づくり会議が発足されました。



↑余目第四公民館初めての館報
館報「ほなみ」



↑振興計画策定に向けた
会議・研修会の様子

パパとママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～!



① 海のような広い心をもって優しく、自分の考えをもった芯のある男の子になるように願ってつけました。

② プーさんのおねんねジムです。両手をあげてプーさんやティガーを引っ張り、声を出しながら楽しそうに遊んでいます。



③ 初めて会う人に抱っこしてもらった時泣いてしまった事。こんなに早く人見知りするのかな？

④ 寝ていると思い部屋を離れ戻ると起きていたこと！これからどんどん1人で動きまわるようになるので今以上に目が離せなくなるなと思いました。

⑤ いつも笑顔に癒されてるよ・∀・
これからもすくすく元気に育ってね☆

と
檜山 琉都ちゃん

(京島)

令和2年8月28日生まれ

パパ：健人(けん と) ママ：愉奈(ゆ な)



あゆむ
志田 歩ちゃん

(古関)

令和2年9月6日生まれ

パパ：章(しょう) ママ：恵梨子(えり こ)



① お姉ちゃん、お兄ちゃんと似た響きの名前で、自分の道をしっかり歩んでほしいと願いを込めました。

② ぶら下がっているおもちゃを掴もうとして遊ぶこと。

③ お腹をポンポンしてあげると、すぐに寝てくれることが多くて助かっています。

④ バンボに座らせて遊ばせていたら、いつのまにかうんちをしていて、背中まですごいことになっていた。(汗)(3日連続、同じ状況・・・)

⑤ 毎日みんなを笑顔にしてくれてありがとう！お姉ちゃん、お兄ちゃんと仲よく元気に育ってね ^.^



Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やはまってることは？ Q3 最近記憶に残ったエピソードは？

Q4 パパママの失敗談(子育てあるある) Q5 パパママからのメッセージ



余目第四幼稚園

よつばっこ通信

🍀 親子でノーメディアに、チャレンジ！

第四幼稚園では、1月、生活習慣確立のため、生活カードを使って、早寝早起き朝ごはん、あいさつ、ノーメディアの取り組みを行いました。

その中でも、ノーメディアの取り組みとして、第四小学校と同じ期間3日間を目標に、レベル1～レベル5までを自分で選び、取り組みました。テレビやゲーム、YouTube など、メディアに触れる機会は年々増加していくとともに、低年齢化しているような状況です。

3日間取り組んでみて、親子の会話が増えた、いろいろな遊びができた等とうれしい発見もあったようです。これからも、無理のない範囲で、ノーメディアを意識し、取り組んでいけたらいいですね。

保護者の方の感想を少し紹介させていただきます。

兄弟で声がけをして同期間で取り組みました。絵本を読んだり、トランプをしたりして、工夫して楽しく過ごせました。1週間に一度くらいはこのような取り組みがあってもいいのかなと思いました。

テレビ、ゲーム、タブレットが習慣となっており、見るのを我慢するということが大変だったが、兄弟みんなで取り組みいろいろな遊びをした。みんなで体を動かしたりテレビではないゲームをしたりすることで、ふれあいや会話、笑いが増えたように感じる。これからも定期的にノーメディアに取り組んでいきたい。

3日間レベル2に挑戦してみましたが、大人もその間ずっと見ないというのは本当に大変だなあと実感。声掛けだけではできない日もあり、その時間絵描きや車遊び、お話をしたり頑張ってみました。でも、寝るときに携帯を見てしまうという事もあり、大人も含めメディアにたくさん頼っている事を反省しました。

- レベル1 食事中はノーメディア
- レベル2 夜8時以降はノーメディア
- レベル3 夜7時以降はノーメディア
- レベル4 園から帰宅したらノーメディア
- レベル5 一日中ノーメディア



小さい組さんから、お別れ会の招待状をもらいました



2月誕生会おやつチョコケーキ
(あのねが、たくさん出たのはこのケーキです)



節分、豆まき



【先生あのね】 2月の誕生会のおやつ(チョコケーキ金粉のせ)を食べながら・・・

- その① Y子 「このケーキ、金がのってるね。高くないの？大丈夫？」
お財布の心配をしてくれて、ありがとう💛
- その② H男 「このケーキ、フランスの味がする！」

余目第四小学校6年生

わたしが描く和合の里



長南 ^{あお} 青波
【沢新田】

ぼくは、和合の里が、いつも明るい所なので、これからもずっと明るい和合の里を残していきたいです。田んぼがたくさんあるので、田んぼはずっと和合の里にあってほしいと思います。田んぼの稲の色はきれいな色なので、見ると落ちついてきます。この風景がずっと残ってほしいです。

わたしが描く「和合の里」はみんな仲良くいじめのないことです。これからも、みんな仲良くいじめも悪口もない そんなあたたかい「和合の里」にしたいです。学校のみんなが助け合える学校生活を送って、ずっとずっと残していきたいです。



松田 ^{みく} 美空
【前田野目】



宮川 ^{りゅうせい} 琉晴
【京島】

ぼくの好きな和合の里は、みんな元気で明るいところです。毎日、友だちといっしょにサッカーをしたり、バスケットをしたりするのが楽しいです。地域の人と会うと声をかけてくれるのもうれしいです。ぼくが大人になっても、みんなが元気で明るい和合の里ですごせたらいいなあと思います。

四 小学区の人たちは、あいさつや笑顔がすてきで、優しい人がたくさんいていいなあと思います。こまった人がいたら、協力して、友達や家族とも仲良くしてるところが私の好きなところです。これからも、自然が豊かで元気いっぱいの和合の里になってほしいです。



相馬 ^{もも} 桃
【中野】



秋庭 ^{さくや} 咲也
【南野】

ぼくが好きな「和合の里」は、田んぼが多くて緑が豊かなところです。大好きな虫がたくさんいるし、四小にはかわいいうさぎもいて、いろんな生きものといっしょにすごせるのがうれしいです。ぼくが大人になっても、自然いっぱいの和合の里であってほしいです。

私は、沢新田に住んでいます。学校の帰り道、ちょうちょやダンゴムシ、たんぽぽやつくしを見て帰るのが楽しいです。虫や花がたくさん見つかる和合の里が、大好きです。これからも、和合の里で、すてきなものをいっぱい見つけたいです。



櫻庭 ^{なな} 菜杏
【沢新田】

わたしから見た和合の里

和合の里にお世話になって9年が経とうとしています。私にとって和合の里は第2の故郷のようで、毎日、ここで仕事ができる幸せを感じております。



庄内町立余目第四幼稚園
園長 後藤 郁子

わらいがいっぱい！子どもはもちろん、お父さんお母さんおじいちゃんおばあちゃんも楽しいことが大好き！「ザリガニいっぺいる所教えっぞ～」と地域の方から誘われてザリガニ釣りも楽しみました。

ごう雪もなんのその。子どもたちは雪の中を走り回り、雪だるま作りに雪合戦。地域の方から作っていただいた肥料袋のそりを使って何回も山から滑り落ちています。

うむのに、とってもいい環境！幼稚園のカメは何回も卵を産み、今年は2匹の赤ちゃんカメが誕生。きっと、住み心地のいいお水と空気なのでしょうね。地域の方から「カメさ食べさせれー」ともらったどじょうも栄養満点だったのかもしれません。出生率も上がりますように♡

のびのび育つために必要な触れ合いや経験が和合の里にはたっぷり詰まっています。“地域が子どもを育てる”そう胸を張って言えるのがここ和合の里です。

さんぽでは、地域の方から地蔵さまのお話を聞いたり、へびのアパートを案内してもらったり、田植えの体験もさせていただきました。また、鈴虫が鳴く頃になると、「子ども達さ、きがせれー」と鈴虫も持ってきてくれます。きれいなお花もたくさん届けてくれます。「めんこいのー」「きをつけでのー」といつも声をかけてくださり、本当にめんごがられていて、ありがたいなーと日々、感謝の気持ちでいっぱいです。

とってもあたたかく、元気な和合の里。これからも、子ども達には和合の里のぬくもりをずっと忘れないで、のびのび育ってほしいと願っています。

季節の郷土料理



バンケ味噌

◆材 料

バンケ …………… 60g
味噌 …………… 大さじ 2
砂糖 …………… 大さじ 1
塩 …………… 少々
みりん …………… 少々

◆作り方

- 1 バンケは、たっぷりの熱湯に塩を少々入れて茹でて、すばやく冷水に取る
- 2 茹でたバンケを1時間位水にさらして、あく抜きをする
- 3 2の水気を絞り、細かく刻んですり鉢でする
- 4 みそは、包丁の先につけて直火で焦げめがつく位に焼く
- 5 3と4を合わせ、砂糖とみりんを加えてさらに良くすり合わせる

◆アドバイス

バンケ味噌は、ホカホカのご飯にのせる他にもいろんな食べ方があります

○豚ばら肉とバンケのみそ炒め

(豚ばら肉を炒め、バンケみそを加える)

○バンケみそ和え

(薄味に含め煮した厚揚げや凍り豆腐をバンケみそで和える)

人生100年時代



庄内町保健福祉課
主査兼高齢者支援係長
長南 ゆかり

～ 春です、『飲み物を持参』して、
少しずつ外に出ましょう～

春です。ご近所の方や友だちと、良くおしゃべりをしていますか。家でじっとしているだけでは刺激が少なく、足腰も弱くなってしまいます。次のことを心がけましょう。

①筋力アップを図りましょう。

歩くときに、歩幅が狭くなっていませんか。体調をみながら、転倒予防につながる筋力アップを図りましょう。椅子やテーブルにつかまり、太ももをゆっくり3秒かけて持ち上げます。できれば両足を10回ずつ、1日2セットが目安です。決まった時間に放送されるテレビ体操やラジオ体操も、習慣にしやすい効果的です。

②水分を摂りましょう。

食事も含めて1日6回以上、意識して水分を摂取することは、脱水を予防し、認知症予防にもつながります。急に暑くなる日もあります。外出時も、水筒やペットボトルを持参し、飲み物をこまめに摂りましょう。

マスク越しでも、会話は心の元気の源です。少しずつ外出して、家族だけでなく、地域で新しいつながりをつくりましょう。

令和2年における 交通事故発生状況

わごう駐在所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



令和元年と令和2年を比較すると・・・

人身事故発生について令和元年は発生48件、死者0人、傷者57人でした。対して令和2年は発生43件、死者0人、傷者49人でした。令和元年と比較すると令和2年は発生5件減少、傷者8人減少し、死亡事故は発生していません。

物件事故発生について令和元年は発生351件に対して令和2年は発生310件で比較すると41件減少しました。

令和2年は令和元年と比べて人身事故発生、物件事故発生ともに減少しました。令和3年も安全運転をお願いします。



もっしえけの！まだ、かだっでの～！

令和2年度
事業参加者の声

■放課後子ども教室「わごうの広場」

集 落の遊園地で遊んでいる子ども達をたまにしか見ることが出来なくなっていますが、月2回水曜日の放課後は第四公民館のわごうの広場からは、元気なあいさつ「こんにちは！」「おかえり！」が聞こえてきます。

グラウンドでサッカー、鬼ごっこ、山で虫を探し、堰でザリガニ・カニを捕まえてなど遊び方や遊ぶ相手は多様ですが、自分たちで遊び方を工夫し、ルールを作りそして遊びを通して下級生や友達への思いやりを育み、生物の命を感じ大事にする子ども達みんながイキイキと楽しんでいる姿にはパワーをもらっています。

そんな子ども達をみながら、自分が子どもの頃の遊びや遊び仲間、遊んだ場所などを思い出し、重ね合わせてしまいます。

遊んだ後の宿題学習時間にも全集中して頑張っていました。

今年はコロナ禍で、夏休みの県外学習やざっこしめ、ミニ門松づくりなど中止となりましたが、そんなことにはめげないで頑張る子ども達にエールを送り、早く以前のように幅広い活動が進められるわごうの広場に戻ればいいなあと切に望むところであります。



佐藤 正義 さん
(西袋)

私 は一年生からわごうの広場に参加しています。わごうの広場では、お家が遠くて学校のあとに遊べない友達ともいっしょに勉強をしたり遊んだりできます。

夏休みには、水族館や動物園に行ったりしました。大きなバスに乗って、はんにわかれて行動しました。みんなでお弁当を食べたことが一番楽しかったです。毎回楽しみにしています。来年もわごうの広場に参加したいと思いました。



渡會 咲 さん
(吉方/4年生)

今 日、わごうで、かたいぼうや、勉強、本を読んだりしてすごしました。

かたいラップのぼうがなかったなので、キッチンペーパーをつぶして半分におったものを、二つくっつけて、さらに、キッチンペーパーのしんでおったものにもようをかきました。とっ



関井 莉緒 さん
(廻館/3年生)

てもかたくて、ムキムキの人しかおれないんじゃないかと思いました。

勉強はドリルの35番をしました。いがいとむずかしかったです。本は学校にわすれてしまったので、第四公民館の本をよみました。「死をよぶ月光のソナタ」という本です。こわい本ですが、私はこわくありませんでした。ちょっとこわいなと思ったのは、タツヤ・エンピツで、死んだタツヤのエンピツを使ってテストに書きこもうとすると……。というお話しです。というかんじでわごうの一日がすぎっていきます。

今 年のわごうの広場は六月からスタートでした。

ぼくはわごうの広場に参加して、その一番の楽しみは夏の遠足でした。ですが今年はコロナのえいきょうで夏の遠足が中止となりとても残念でした。六年生で最後だったので、ぼくは友達といっしょに



梅木 冬真 君
(廻館/6年生)

遠足に行きたかったです。放課後では、友達とバスケットボールをしたり、雪がふったら、雪の山にのぼって遊んだりし、とても楽しい時間を過ごせました。去年は五、六年生で集まって一つの小さな部屋で勉強をしていましたが、今年はホールで三年生から六年生まで、みんな集まって勉強したのでいつもとはちがうかんじでした。勉強するときの席も三人ですわれる席を二人ですわってまん中にすわらないように紙がはってあって両はじにすわりました。

来年はコロナが収まっていつも通りの生活になってほしいです。

■和合大学院「悠遊塾」



鈴木 弘 さん
(廻館)

幼 稚園との交流をした際のことで

す。
何をやるか拘りは無く、楽しく遊ぶことが目的でした。

私は男の子と相撲をしました。勝負は押し合いをして大きく後退した方が負けになります。負け方に工夫をして私の方が“負けた”と言うと園児はニッコリ微笑

みます。そして次の仕切りになります。

その時の園児は真剣な顔で睨みます。押すときは前傾姿勢で力一杯押してきます。こんな小さい時から男の子は、勝負に対する厳しさを持っているんだと感心させられました。そして私も体を動かしたことでさっぱりした気持ちで終わったと思うのですが、逆に私の方が遊んでもらったのではないかと苦笑を禁じえません。

高齢者は体を動かす事が少なくなります。年に2～3回このような軽運動をする機会があっても良いのではないかと思います。



10月22日 脳トレ、軽体操



11月18日 本間美術館、致道博物館見学

■和合歴史民俗塾

定 年退職後の余暇活用

の一環として「和合歴史民俗塾」に初めて参加しました。塾は座学と現地研修の二本立て。座学はその道のエキスパート講師により、亀ノ尾を始めとする「水稻品種と庄内の稲作」、世界かんがい施設遺産でもあり、庄内稲作を育む水田の礎を築いた「北楯大堰」のことを学びました。どちらも、誇りをもって語り



吉田 久光 さん
(西袋)

継いでいくべき地元の歴史であると感じました。現地研修は座学で学んだ北楯大堰の見学、文化財（本山慈恩寺と旧柏倉家住宅）めぐりに行きました。どちらも楽しく、充実した時間でした。

令和二年度の和合歴史民俗塾受講生は総数37名。新規参加者は私を含め8名でした。継続して塾に参加される方々が多いのも特色の一つ。確かに、塾の内容が濃い割には受講料が安い、という魅力がありましたが、他にもきっと、継続して参加したくなる「何か」があるのでしょう。来年は私も、その仲間に入ろうと思っています。



9月11日 北楯大堰見学



10月16日 本山慈恩寺、旧柏倉家住宅見学

受賞おめでとうございます!!

令和2年度庄内町スポーツ協会表彰式

【勲功賞】

陸上 齋藤 真希（南野） 東京女子体育大学2年

【栄光賞】

陸上 齋藤 早希（南野） 庄内A C
齋藤 愛梨沙（連枝） 余目中学校2年

卓球 加藤 光咲（主殿新田） 余目中学校1年

剣道 加藤 心愛（主殿新田） 余目中学校2年
三浦 未陽（福島） 余目中学校1年

バスケットボール

佐藤 美羽（南野） 山形大学4年

柔道（個人）

高橋 ゆい（連枝） 立川中学校2年

柔道（団体）

高橋 ゆい（連枝） 立川中学校2年
石川 真子（連枝） 立川中学校1年

【栄光賞】

ソフトボール

齋藤 璃奈（連枝） 鶴岡東高校2年

ウエイトリフティング

長谷部 達也（古関） 中央大学3年

【奨励賞】

陸上 佐藤 旭（南野） 余目第四小学校6年

卓球（団体）

大滝 瀬莉葉（西袋） 余目中学校2年
齋藤 妃菜（南野） 余目中学校2年
加藤 光咲（主殿新田） 余目中学校1年
土田 結葉（廻館） 余目中学校1年

剣道（団体）

阿部 斗真（大真木） 余目中学校2年



子どもたちが昔の農作業を体験

1月19日、余目第三小学校の皆さんが亀ノ尾の里資料館に来てくれました。展示されている昔の農具や生活用具について説明を聞き、その後昔の農作業を体験しました。足踏み脱穀機のお手本を見た児童からは「おー」と歓声が上がっていました。その後、地域の先生にやり方を教えてもらいながら千歯抜きや足踏み脱穀機、豆ぶちを使っの脱穀体験をしました。児童からは「昔の人の生活は大変だった。」や「千歯抜きと足踏み脱穀機では作業の速さが全然違うことがわかった。」といった感想が聞かれました。

編集後記

今年の冬は去年と比べて数倍の雪が降りました。久しぶりの除雪で体中が筋肉痛になった方もいらっしゃると思います。さて、新型コロナウイルスの影響で余目第四公民館や亀ノ尾の里資料館への利用された方々が昨年度と比べて約46%となっております。いち早く新型コロナウイルスが収束して皆さんとお会いできる日を心待ちにしております。